

# 7月30日 第3回まちづくり町民会議ワークショップ

## 《 1 班 》

情報公開
・ 足で情報を集めてほしい
・ 口コミによる行政の情報の流れがない
・ 地域のネットワーク構築がされていない
・ 町政懇談会が役場の一方的な説明になっている
・ 役場の説明会にくる人が少ない
・ 窓口での個人情報の管理が甘い
・ 広報紙が老人向きでない
役場の機構
・ 役場の給料が地場産業の人よりも高く感じる
・ 窓口の人が多すぎる
政策が見えない
・ 合併により分散化された
・ 外部からの受入体制が出来ていない
・ 受益者負担が増えている
・ 30代から50代が参加できるイベントがない
・ 費用対効果が見えない
地域課題
・ 地区の問題の早期解決を
・ 各地区の活性化に努めてほしい
・ まちづくりの方向性が分からない
・ まちの特徴が見えてこない
・ 空き地の美化
職員の資質向上
・ 予算編成の際に、町全域の実況検分を行い、優先度を付けて事業を行う職員の努力が必要
・ 職員の行事への参加が少ない
・ 朝のかけ込み出勤が見られる
・ 町主催の講演会や勉強会に率先して職員が参加すべき
・ 民間人を含めた職員研修委員会をつくり、研修計画の立案や評価を実施
・ 昇任試験制度の採用
職員の意識改革
・ 笑顔が少ない
・ サービス業としての自覚がない
・ 情報が伝わらない
・ 職員のサンダル履きを見ると緊張感を感じない
・ 職員はもっと地域活動に参加すべき
・ 職員のボランティア活動への参加が少ない

# 7月30日 第3回まちづくり町民会議ワークショップ

## 《 2 班 》

役場の構造改革	
・若手職員の重点活用	
・人材の有効活用(人員の重点化)	
・監査体制の強化	
情報公開の推進	
・情報の共有化(苦情・要望等の横断的共有化)	
・役場のメンテナンスコストの公開	
町民の声を政策に反映	
・町民の声を政策に反映してほしい	
・町民の声を広報などで伝えてほしい	
・環境保全を積極的に考えてほしい	
・山や川、野生動物を大事に考えてほしい	
・第1次産業(農業、林業など)を大切に考えてほしい	
職員の意識改革	
・接客が下手	
・専門性を持ってほしい(勉強してほしい)	
・ポリシーを持って仕事をしてほしい	
・前例を全て否定して仕事にあたる	
・保守的	
・決められたことだけでなく、新しいことや改善を進めてほしい	
その他	
・自転車の有効活用(地域の課題を直接目で確認する)	

# 7月30日 第3回まちづくり町民会議ワークショップ

## 《 3 班 》

公僕たれ
・職員は24時間公僕たれ
・公僕の意味把握
職員の向上心
・財政が年々厳しくなる現状を踏まえ、職員も勉強してほしい
・地域の特色を学んでほしい
・エキスパートへの努力
・各種行事への積極的参加
・急速に進む高齢化に対し関心度を高めてほしい
・始業時間は仕事開始
・元気がない
住民への対応
・たらい回しにされる
・横の連携がない
・不親切
・分庁舎で不便
・夜間の対応が悪い
・町民と信頼関係を
情報開示
・職員研修カリキュラムの公表
・分からない財政報告
・情報開示が足りない
体質
・職員に対して刑罰が軽い
・人事異動に本人の希望を取り入れてほしい
・役場や病院も24時間体制で
その他
町長は全ての模範たれ